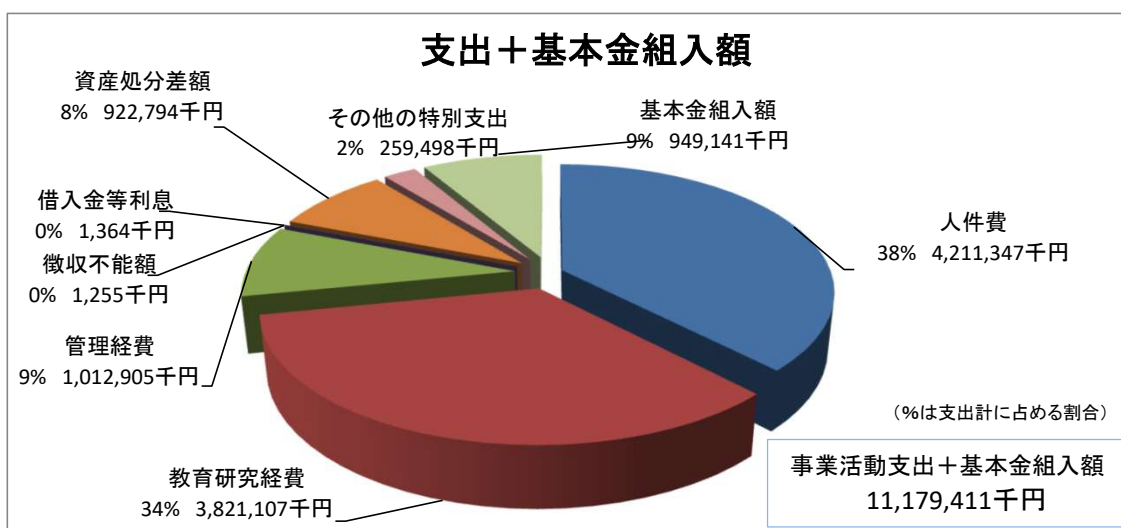
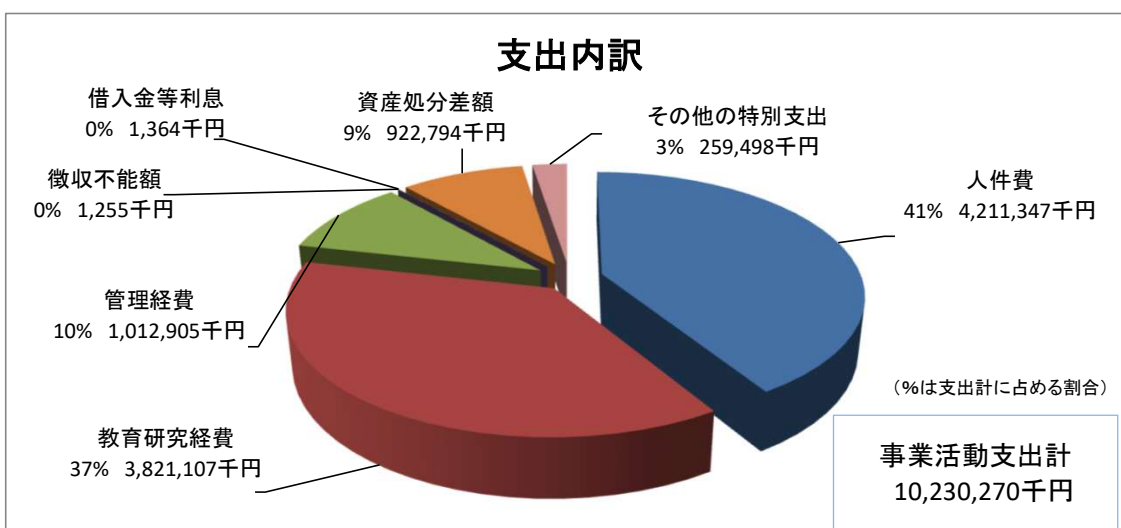
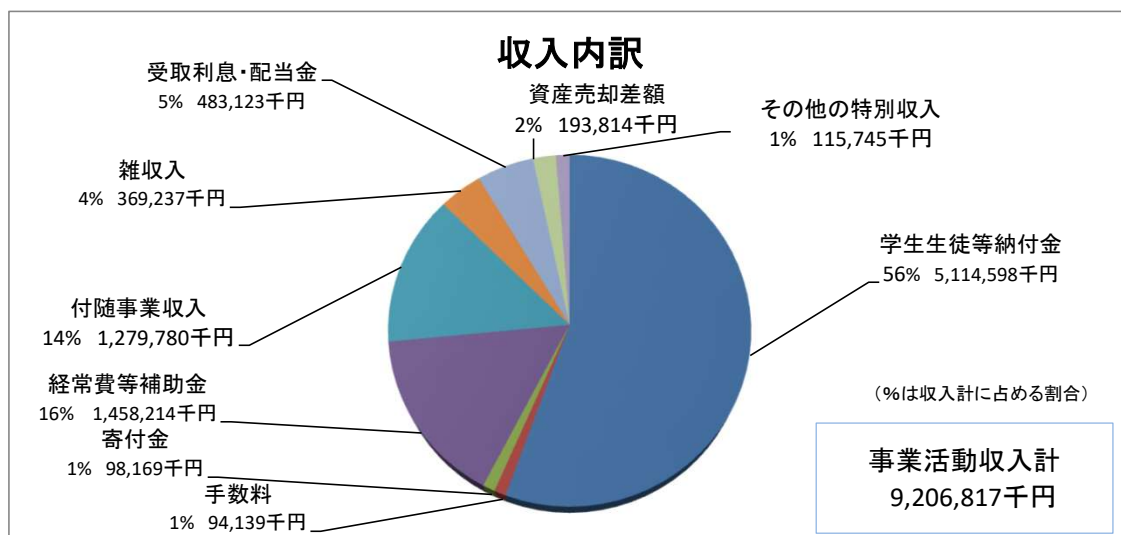


2025年度事業活動収支計算書 (学園全体)

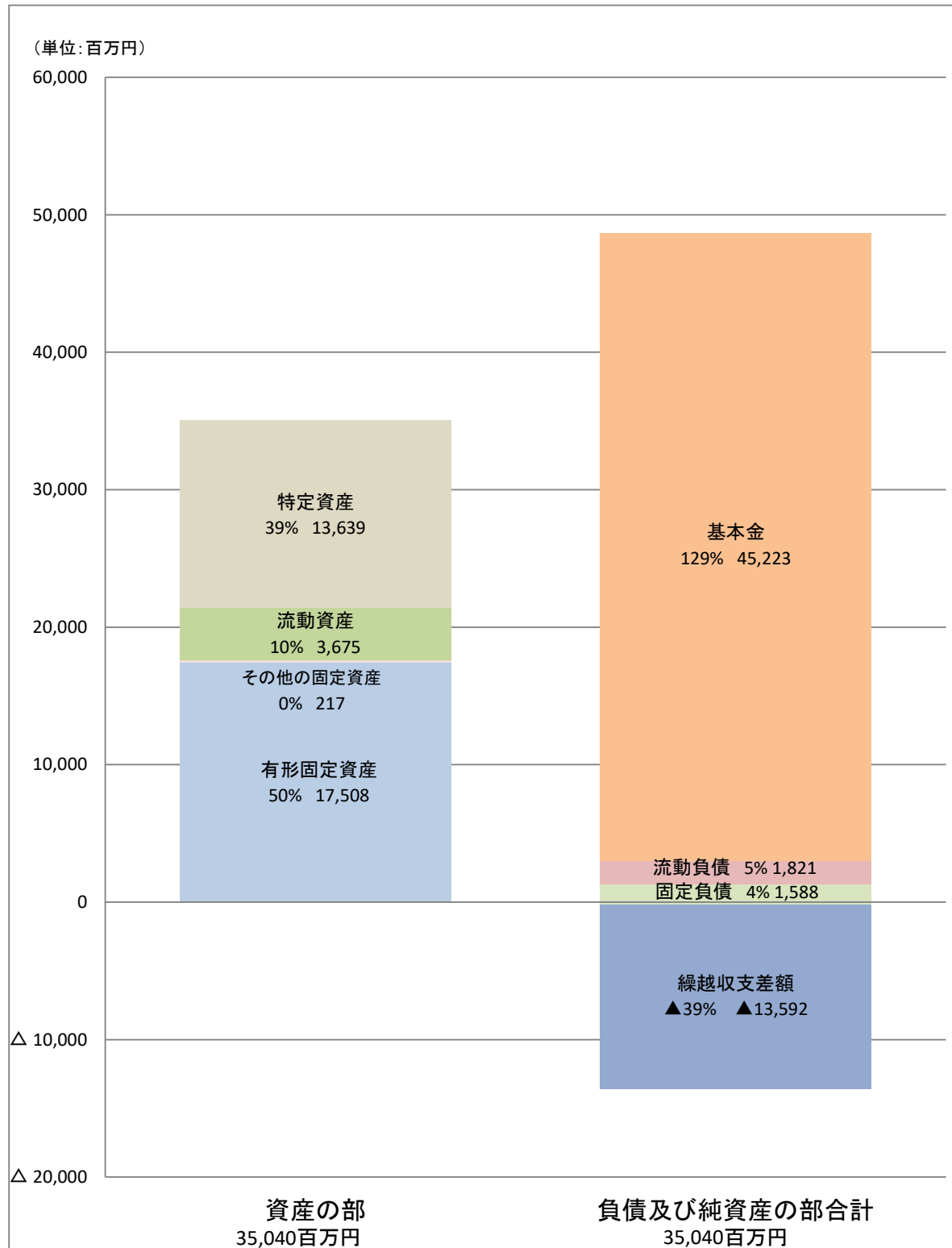


学園全体の事業活動収入の合計は9,207百万円であった。うち56%の5,115百万円が学生生徒等納付金、16%の1,458百万円が経常費等補助金、14%の1,280百万円が付随事業収入であった。

学園全体の事業活動支出の合計は10,230百万円であった。うち41%の4,211百万円が人件費、37%の3,821百万円が教育研究経費、10%の1,013百万円が管理経費であった。

事業活動収入の合計から事業活動支出の合計を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は▲1,023百万円となり、事業活動収支差額比率は ▲11%であった。

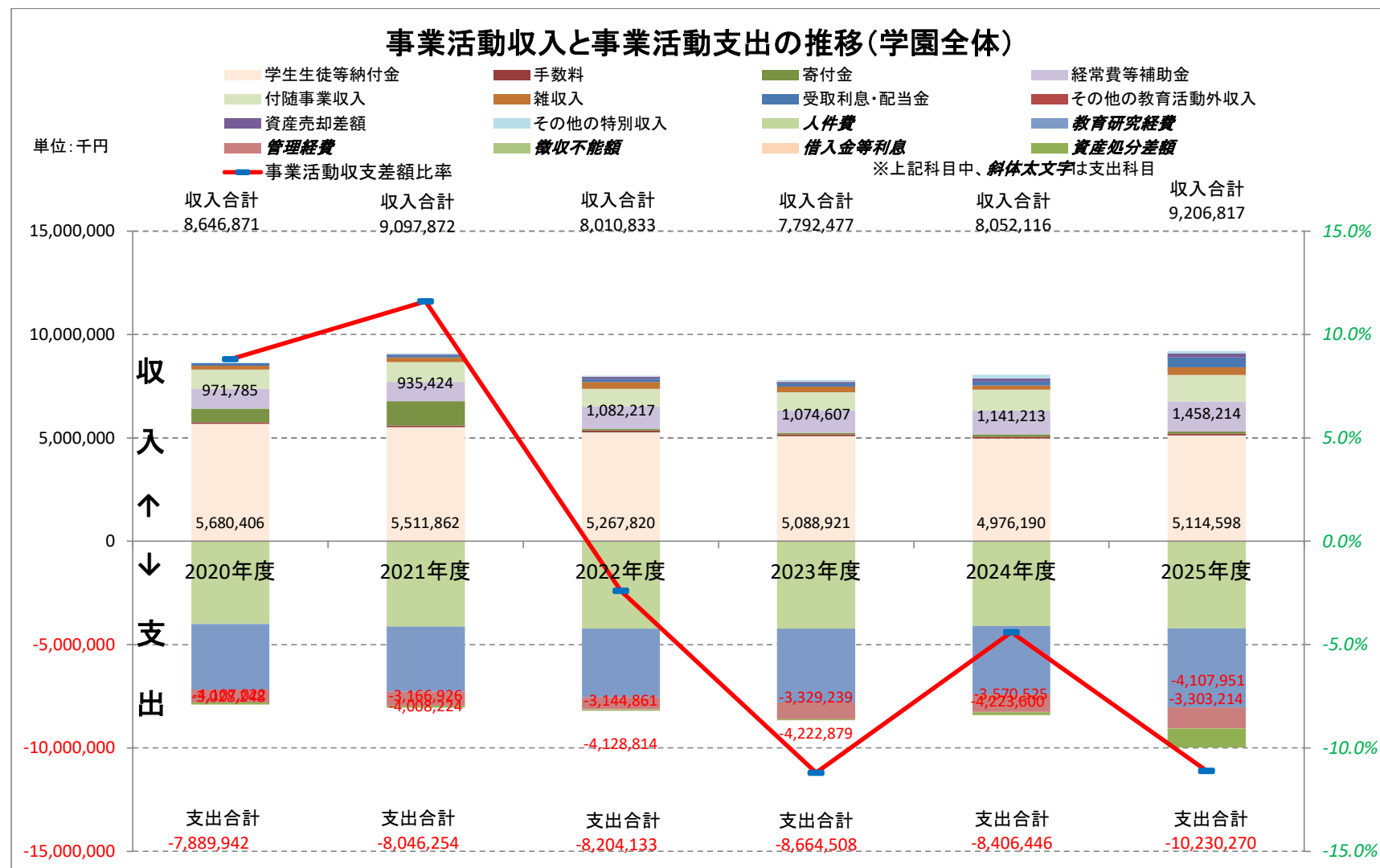
2025年度貸借対照表 (学園全体)



学園全体の総資産額は35,040百万円であった。うち50%の17,508百万円が有形固定資産、39%の13,639百万円が特定資産、0%の217百万円がその他の固定資産、10%の3,675百万円が流動資産であった。

学園全体の固定負債は4%の1,588百万円であった。流動負債は5%の1,821百万円であった。

基本金は129%の45,223百万円であった。繰越収支差額は▲39%の▲13,592百万円であった。



学園全体の2025事業活動収入の合計は、前年比1,155百万円増(14.3%)の9,207百万円となった。主な増減内容は、学生生徒等納付金138百万円増、雑収入11百万円増、寄付金5百万円減、経常費等補助金317百万円増、付随事業収入262百万円増、受取利息・配当金収入297百万円増、資産売却差額48百万円増、その他の特別収入65百万円減となった。

学園全体の2025事業活動支出の合計は、前年比1,824百万円増(21.0%)の10,230百万円となった(グラフ上は支出をマイナス表示としている)。主な増減内容に人件費103百万円増、教育研究経費518百万円増、管理経費166百万円増、資産処分差額777百万円増である。

この結果、基本金組入前当年度収支差額は前年比669百万円増の▲1,023百万円となった。